

評価シートの見方（記載例）

・重点 H29予算編成において重点化・高度化事業として提出するもの
 ・法令補助 法令に補助が明記されているもの及び国県等の間接補助があるもの（直接補助は除く）

取扱基準を設定した時期及びその終期（補助金の開始時期と終期）
 ※取扱基準記載のとおり

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	（その他補助）	開始時期	平成26年4月1日	終期	平成29年3月31日
補助事業名	〇〇〇地域活性化補助金							
[下段に制度概要を記載]	市内各地域の自発的活性化に寄与するため、市内各自治会・コミ協の創意工夫によるアイデアに対し補助を行うもの。補助率1/2（補助対象経費）、限度額50万 ソフト事業対象 ※補助対象経費：事業遂行に必要な経費（但し、構成員の交流経費・飲食費を除く）							
款・項・目	◇◇費 ◇◇費 ◇◇振興費							
所属等	□□□□部 □□□□課 □□□□係 電話〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇							

各年度の最終予算額、決算額を入力。3年目は評価時点での決算見込額。特定財源がある場合は右欄に内訳（国、県、使など）を記載
 ※決算額が予算額を超えないように

定額補助の場合は実行補助率を記載。実行補助率(%) = 補助額 / 補助対象経費

取扱基準に記載した目標を記載。補助制度がめざす目標

年 度		26年度（1年目）	27年度（2年目）	28年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	8,000	10,000	10,000
	決算(千円)	4,000	5,000	7,500
補助率		1/2	1/2	1/2
目 標		各地域における住民の自主活動を促し、住民同士の希薄化を避ける。 <目標が数値でない場合の評価方法> 各自治会・コミ協における事業参加者数を把握するとともに、事業の満足度評価アンケートを実施し評価とする。		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	初年度については20自治会から活用していただいた。満足度評価アンケートにおいては補助率の拡充や事業要件の緩和を求められる声が多かった。	昨年度に引き続き同一補助内容として実施し、35自治会・コミ協から活用していただいた。各事業の参加者数も幼児から高齢の方まで参加できるものが多かった。ただ満足度アンケートについては昨年同様の記載事項が多数見受けられた。	事業3年目ということもあり活用自治会・コミ協数も45あり増えてきている。満足度アンケートについてはより改善を求める声が見受けられる。
補助事業者による情報の公表		総会資料、回覧版		

左欄に達成率、右欄に数値を記載。3年目は評価時点での見込数値を記載

目標が数値でない場合はこの欄に記載

補助事業者が新潟市からの補助金交付について公表している媒体を記載

①の場合は拡充・改善のどちらかを○で囲み、改善の場合は更にその内容を○で囲む

①～③を選択した理由、次年度以降の事業展開について記載

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか（繰越金が生じていないか）	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<g～hにおける取組> 新規事業として目標の数値化を行わなかったが、今後は補助金の成果をより分かりやすく検証するため、今期間の状況を踏まえて数値化を行い、検証しやすいものとする。（活用自治会の件数化、満足度アンケートの点数化などを検討）			
		<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 本事業の趣旨をしっかりと説明できなかったため、単なる仲間内の事業に対する補助に終わってしまった。また、アンケートについても不参加者の声を取り入れていなかったことが考えられる。			
		① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止			
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその改善点も踏まえること			
		今期間において継続要望の声は多数頂いており事業の必要性が感じられるため。ただ、事業趣旨の周知方法や実施後における聞き取り調査（不参加者の声の反映等）も改善し、目標を達成するためより多くの団体に活用してもらうことを目指す。			

単年度補助金も含め、やめる、終わる補助金については全て補助制度の「③ 廃止」を選択

注 補助金の開始時期、終期は補助金取扱基準記載の時期と一致します。
 年度によって目標が異なる場合は、目標欄に年度毎の目標を記載し、達成度欄もその目標年度毎に評価してください。
 決算額が予算額を超えないように注意してください。